

個人別 目標 行動一覧(目標事例集)

							8	9
職員NO.	氏名	所属	生年月日	雇入日	役職	等級	職務目標	S行動
3	職員C	看護	S44.4.26	H22.10.1	－	4	ショートステイ利用者の実態調査を行い、状態を把握する。	実態調査の情報を看護に伝え、利用するまでに看護師3人が状態を把握することができた。
8	職員A	専門(相)	S59.1.27	H17.8.1	－	4	家族連絡や面会時に利用者様の情報を曖昧にしないで伝える。	常にこちらから伝えた内容については、情報に漏れが無く伝えることが出来る。ただし家族からの質問や個人の判断に困る場合は除く。
15	職員B	介護	S46.10.28	H4.4.1	－	4	AEDを使用する機会があまりなく、AEDの使用に不安を感じるため、使用方法の指導をうける。	使用方法の指導をうけ、使い方を理解することができた。
16	職員D	介護	S55.12.21	H13.4.1	－	4	介護全般において、理論に基づいた説明ができるようになるため、理論を意識し業務にあたる。	利用者様の変化に対し、月1回理論に基づいた対応ができた。
23	職員E	介護	S18.9.8	H13.8.1	－	4	棟職員の特性を引き出せるような関わりができる。	個々に合わせた適切なアドバイスができる。
28	職員F	介護	S55.8.30	H16.4.1	－	4	希望者には急須と湯呑を用意し、随時お茶等を提供し、より良いコミュニケーションを図る。	要望を叶えることで精神の安定を図り、今までにない話を聞くことができた。
30	職員H	介護	S52.9.12	H19.10.1	－	4	担当利用者のより良いケアを見出す。	情報収集したケアの中から行えるケアを実践する。